

《課題名》 大腸癌手術におけるサルコペニアが及ぼす影響に関する検討

《研究対象者》 2011年1月1日から2022年12月31日までの期間に、滋賀医科大学附属病院消化器外科において大腸癌と診断されて手術を受けた方。

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意は頂かずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加(情報提供)を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1)研究の概要について

研究課題名: 大腸癌手術におけるサルコペニアが及ぼす影響に関する検討

研究責任者 滋賀医科大学 外科学講座 消化器・乳腺・一般外科 谷 眞至

研究期間: 滋賀医科大学学長許可日(2020年3月25日) から2024年3月31日

(2)研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

「背景」大腸癌手術では、患者さんの栄養状態が、術後合併症だけでなく、再発や生命予後に影響を与えるとの報告があります。また、サルコペニアは骨格筋量や骨格筋力の低下のことで、近年、さまざまな疾患で、その経過に影響を与えられています。しかしながら、サルコペニアが大腸癌手術において、合併症、予後に影響を与えるかどうかについては十分に明らかではありません。

「目的」大腸癌手術を受けられた方において、サルコペニアが術後合併症および予後など術後成績に及ぼす影響について検討いたします。

「意義」サルコペニアが手術に及ぼす影響について明らかになることで、術後合併症の減少に繋がる可能性があります。

(3)研究の方法について

《研究の方法》

当院の電子カルテより、大腸癌に対する手術を受けられた方を全例抽出し登録します。当院で2011年1月から2024年3月31日までに手術をおこなった大腸癌患者さんの診療記

録から得られる臨床経過、及び、血液・画像検査などで得られる検査値などの結果を調査し、サルコペニアおよび栄養学的評価項目が手術に及ぼす影響について検討いたします。情報の管理については、研究責任者である滋賀医科大学外科学講座教授 谷眞至が責任を負います。

(4) 個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。ただし、必要な場合に個人を特定できるように、対象となる方とその方の情報を結び付けることができる対応表を作成いたしますが、この対応表は施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には、(2023年9月30日までに)下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 外科学講座 小島 正継

住所: 520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号: 077-548-2238

メールアドレス: hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp (外科学講座医局)